

I 実践

1 研究主題「自分や他者の権利を守り、誰に対しても公正・公平に振る舞える生徒の育成」

(1) 主題設定の理由

本校では、日立市の人権教育の研究主題をもとにサブテーマとして①「人権に関する課題を把握し、理解することで健全な人権感覚や人権意識の育成を図る」②「差別や偏見の不合理性を正しく理解し、差別しない、させない人権尊重の精神を育てる」を目標としている。

①については教師と生徒が人権教育の課題は何かということを中心に追求しながら学んでいくとするものである。②については生徒たちが世の中で生きていく上で必要な「差別をなくす気持ち」を各教科・領域の全分野において育てていくことである。人権教育を進めていく上でどのような取り組みをしていくとより効果的であるかを研究したいと考え、本主題を設定した。

(2) 研究の内容

① 人権教育の課題把握（「茨城県人権推進基本計画」から抜粋）

- ア 子どもに関すること オ 同和問題に関すること
- イ 高齢者に関すること カ ハンセン病・HIV感染症等
- ウ 障害者に関すること キ インターネットによる人権侵害
- エ 外国人に関すること

② 一人一人を大切にした授業の展開

③ 道徳教育の充実

④ 思いやりの心を育てる活動

- ・「SCHOOL REPORT」を活用した生活の振り返り
- ・あいさつ運動
- ・生徒会活動（クリーンアップ滑川，体育祭，潮風祭，各種募金活動）
- ・学校便り，学年便りによる家庭への啓発
- ・地域との交流（敬老会，三世代交流のボランティア活動）

2 実践事例

(1) 「SCHOOL REPORT」を活用した生活の振り返り

本校では平成26年度より、「SCHOOL REPORT」を活用して、一日の生活の振り返りを行っている。本校は、生徒指導上の問題や基本的な生活習慣の確立において、課題がある。そこで自分自身を見つめ、自分のあり方を見直すために、帰りの会で一日の生活の振り返りを行っている。

「SCHOOL REPORT」は望ましい生活態度を築いていくために、学校生活のきまりや服装などの基本的なルール、月の予定表や学級活動の記録など生活の記録などで構成されている。本校の生活の基本を確認し、よりよい生活を送り、心の成長を促すことをねらいとしている。

毎日の帰りの会では、「スクールレポートタイム」を設定し、一日の生活の振り返りを行う。生活を振り返る項目は、「遅刻しないで登校できたか」「自分からあいさつができたか」「友だちや仲間に優しく接することができたか」など基本的な生活習慣を中心にした9項目である。それぞれにA～Cで自己評価を行っている。

担任が毎日のチェックを行うとともに

1日の生活の振り返り A よくできた B だいたいできた C できなかった

1	振り返り項目	自己評価				
		月	火	水	木	金
1	遅刻しないで登校できましたか	A	A	A	A	A
2	家庭学習ノートを提出できましたか	A	A	A	A	A
3	自分から元気なあいさつができましたか	A	A	A	A	A
4	身だしなみを整えて生活できましたか	A	A	A	A	A
5	授業開始時2分前着席ができましたか	A	A	A	A	A
6	授業に集中して取り組むことができましたか	A	A	A	A	A
7	友だちや仲間に優しく接することができましたか	A	A	A	A	A
8	給食後の歯磨きはできましたか	A	A	A	A	A
9	清掃活動に一生懸命取り組みましたか	A	A	A	A	A
(今週の生活目標) ※生活委員から連絡 ○ 元気200%のあいさつせしやう。 ○ 一人一人が元気に笑ってほしい。		達成度の自己評価				
		月	火	水	木	金
			A	A	A	A
担任印			(B)	(B)	(B)	(B)

1週間を振り返って 大切なことですね。
 身だしなみに気を付ける学校です。長距離走大会の終わって
 みんなが元気に笑って思っていた。心に残るね。

に、週末には1週間の反省に対するコメントを記入している。

(2) 福祉体験学習 1学年～福祉キャラバン隊訪問

第1学年総合学習では、「現在の自分の生き方を考えよう～私たちの福祉体験」をテーマに、福祉体験学習を行っている。

11月に地域人材との出会い・交流をねらいとして、日立市福祉協議会を通じて、福祉キャラバンの方々をお迎えし、講演や体験活動を行った。

活動の内容としては、福祉の意義や日立市の福祉で行っている活動について説明をいただくとともに、お年寄りに対する介護の模擬体験を行った。模擬体験は、身近なお年寄りが立ったり体を動かしたりする時のサポートのこつを伝授いただき、実践した。「ボディメカニクス」の原理を活用した立ち上がりや歩行など、日常のさまざまな動きに対する介護支援だった。



(3) あいさつ運動

本校では、ほぼ毎朝登校時にあいさつ運動を行っている。毎週水曜日は学級ごとに順番で生徒と保護者及びPTA役員、月・火・木は生活委員、金曜日は生徒会役員が昇降口に立ち登校してくる生徒へあいさつの呼びかけをしている。今年度は、部活動での取り組みも実践し、活動を広げてきた。

また、「11月のいばらき教育月間」では、滑川小学校、田尻小学校とも連携して、小・中によるあいさつ運動を展開した。



3 成果

「SCHOOL REPORT」を活用した生活の振り返りでは、生徒たちにとっては、自分の姿を振り返り自分を見つめる契機となり、担任にとっては、生徒の変化に気づき、指導のあり方を問い直す場となっている。また学級活動や道徳での活用も行っている。

「SCHOOL REPORT」活用2年目であるが生徒の学校生活の改善と心の成長のために全職員で協議し、よりよい活用の仕方を探りながら活用を図っている。生徒の心の育成を全職員で考える貴重なテーマとなっている。

福祉体験学習では、活動後に生徒たちから、「福祉は大切だね」、「今度おじいちゃんにやってみよう」といった声が聞かれた。年間を通して行う福祉体験学習であるが、「福祉」についての理解を深めるとともに、立場が違う人との関わりについて考える契機となった。

あいさつ運動は、生徒たちがあいさつをする習慣の向上に役立っている。少しずつあいさつができる生徒が増えてきた。基本的な生活習慣の確立につながるあいさつ運動を、今後も続けていきたい。

II 今後の課題

- ・「SCHOOL REPORT」の望ましい活用方法の模索
- ・生徒一人一人の基本的な生活習慣の定着
- ・生徒一人一人の自己肯定感の育成
- ・教職員の人権意識を高める校内研修